

## お知らせ

2018年11月6日  
井関農機株式会社

### 鹿児島県立鶴翔高等学校 × ISEKI

#### 先端技術を活用した「稲作機械化一貫体系プロジェクト」に取り組んでいます

当社と(株)中セキ九州は、2018年5月より鹿児島県立鶴翔高等学校(鹿児島県阿久根市)の生徒と一緒に、先端技術を活用した「稲作機械化一貫体系プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトでは、生徒たちに先端技術やICTを活用したスマート農機や農機情報や栽培情報が見える化する営農管理ソフト、先端営農技術(栽培技術)を体験しながら、水稻栽培の土づくりから収穫までの機械化一貫体系を学習していただきました。今後、食味分析や土壌分析などを予定しています。また、「農業女子プロジェクト」との合同開催など、女性農業者や新規就農者の方々にもご参加いただきました。

なお、これまでの取組みについて、2018年10月24~25日に開催された全国各地の農業を学ぶ高校生の活動成果を発表する「第69回 日本学校農業クラブ全国大会 鹿児島大会(FFJ)」にてブースを出展し紹介しました。

井関グループは、プロジェクトを通じて、生徒たちが最新の農業機械や営農栽培技術について学ぶことを通して、今後も農業の次世代を担う人材育成に貢献してまいります。

#### 鶴翔高等学校との「稲作機械化一貫体系プロジェクト」の取組み

##### ■第1回(耕うん実習)

- ▶日 時:2018年5月29日(火)
- ▶参加者:鶴翔高等学校の生徒58名、鹿児島県女性農業者3名
- ▶内 容:
  - ・鹿児島県の農業情勢について(鹿児島県のご担当者様より説明)
  - ・ISEKIの「農業女子プロジェクト」における取組み
  - ・トラクタ、耕うん機などの概要や安全な操作方法について
  - ・ISEKIの農業用ICTについて、営農支援システム「アグリノート」について
  - ・トラクタ、管理機・耕うん機、刈払機の耕うん実習



## ■第2回(田植え実習)

- ▶日時:2018年6月13日(水)
- ▶参加者:鶴翔高等学校の生徒58名
- ▶内容:
  - ・水稲栽培における疎植栽培について
  - ・田植機の概要や安全な操作方法について
  - ・直進アシスト機能付き土壌センサ搭載型可変施肥田植機による田植え実習



## ■栽培管理

6月に移植した苗の生育調査について、「ISEKI アグリサポート」と連携させた営農支援システム「アグリノート」を活用し、生育管理を行いました。



「アグリサポート」と「アグリノート」の連携に関する詳細は下記をご覧ください。

[http://www.iseki.co.jp/news/up\\_img/1518580806-703972.pdf](http://www.iseki.co.jp/news/up_img/1518580806-703972.pdf)

## ■生育調査

収穫前にマルチロータ(ドローン)による稲の生育状況の空撮を行い、収穫適正時期の確認を行いました。



(株)イセキ九州は、マルチローター教習所を熊本県と鹿児島県に開校、整備事業所を熊本県に設置しています。

<http://www.isekikyusyu.co.jp/doronn/doronntop.html>

### ■第3回(防除・管理実習)

- ▶日 時:2018年7月25日(水)
- ▶参加者:鶴翔高等学校の生徒58名、鹿児島県女性農業者4名、新規就農者2名
- ▶内 容:
  - ・マルチローター(ドローン)による防除・管理作業について(基礎知識、法令、実演)
  - ・GAP(正しい農業生産工程管理)に関するグループワーク



### ■第4回(収穫実習)

- ▶日 時:2018年10月16日(火)
- ▶参加者:鶴翔高等学校の生徒58名
- ▶内 容:
  - ・これまでの取組について(総括)
  - ・コンバインの概要と安全な操作方法について
  - ・収量コンバインによる収穫実習



### ■「第69回 日本学校農業クラブ全国大会 鹿児島大会(FFJ)」での取組み紹介

10月24~25日に「第69回 日本学校農業クラブ全国大会 鹿児島大会(FFJ)」が開催され、全国333校、約4,000名が参加。大会会場にて、鶴翔高等学校とのプロジェクトに関する取組みとICTを活用したスマート農業を紹介しました。



[リリースに関するお問い合わせ] IR・広報室 03-5604-7709

以上